

令和4年度行政事業レビューシート ( デジタル庁 )

<b>事業名</b>	マイキープラットフォーム関連システムの整備及び運用			<b>担当部局庁</b>	国民向けサービスグループ		<b>作成責任者</b>		
<b>事業開始年度</b>	令和3年度	<b>事業終了(予定)年度</b>	終了予定なし	<b>担当課室</b>	マイキープラットフォーム担当		参事官 上飯屋 尚		
<b>会計区分</b>	一般会計								
<b>根拠法令(具体的な条項も記載)</b>	官民データ活用基本法第13条			<b>関係する計画、通知等</b>	デジタル改革関連法案ワーキンググループとりまとめ(令和2年11月26日)				
<b>主要政策・施策</b>	-			<b>主要経費</b>	その他の事項経費				
<b>事業の目的(目指す姿を簡潔に。3行程度以内)</b>	マイナンバーカードによる厳格な本人確認を経て発行される一意性が確保されたID(マイキーID)の発行・管理等を行うマイキープラットフォームの運用保守を通じ、各府省等がマイナンバーカードの本人認証機能を活用した様々な施策を展開することができる基盤を提供する。								
<b>事業概要(5行程度以内。別添可)</b>	マイキープラットフォームをデジタル庁システムとして活用できるよう運用保守を行う。 ※なお、令和3年9月1日からデジタル庁で予算を一括計上しているが、令和3年4月1日～同年9月までは内閣官房情報通信技術(IT)総合戦略室の下で、それ以前は総務省において計上している。								
<b>実施方法</b>	委託・請負								
<b>予算額・執行額(単位:百万円)</b>			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度要求		
	予算の状況	当初予算							
		補正予算							
		前年度から繰越し							
		翌年度へ繰越し							
		予備費等							
	計		0	0	0	0	0		
	執行額				1,089				
	執行率(%)		-	-	-				
	当初予算+補正予算に対する執行額の割合(%)		-	-	-				
<b>令和4・5年度予算内訳(単位:百万円)</b>	歳出予算目		令和4年度当初予算	令和5年度要求	主な増減理由				
	計		0	0					
<b>活動内容(アクティビティ)</b>	マイナンバーカードによる厳格な本人確認を経て発行される一意性が確保されたID(マイキーID)の発行・管理等を行うマイキープラットフォームの運用保守を通じ、各府省等がマイナンバーカードの本人認証機能を活用した様々な施策を展開することができる基盤を提供する。								
<b>活動目標及び活動実績(アウトプット)</b>	<b>活動目標</b>	<b>活動指標</b>		<b>単位</b>	令和元年度	令和2年度	令和3年度	4年度活動見込	5年度活動見込
	各府省等がマイナンバーカードの本人認証機能を活用した様々な施策を展開することができる基盤を提供する	各府省等がマイキープラットフォームを活用した施策の展開数	活動実績			4	5		
			当初見込み			4	5		

定量的な成果目標の設定が困難な場合	定量的な目標が設定できない理由		定性的な成果目標と令和元年～令和3年度の達成状況・実績					
	定量的な目標が設定できない理由及び定性的な成果目標	各府省等がマイナンバーカードの本人認証機能を活用した様々な施策を展開することができる基盤を提供することが活動の目標であり、必要な施策に対して、マイキープラットフォームが有効な基盤として機能したか否かは定量的な指標では測れないため。		マイキープラットフォームの本人認証を活用する施策において、マイキープラットフォームが活用されることを目標とし、令和2年度には4施策、令和3年度には5施策がこの基盤を活用した取組を行った。				
事業の妥当性を検証するための代替的な達成目標及び実績	代替目標	代替指標	単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	中間目標年度	目標最終年度
	各府省等がマイナンバーカードの本人認証機能を活用した様々な施策を展開することができる基盤を提供する	各府省等がマイキープラットフォームを活用した施策の展開数	実績			4	5	
			目標値			4	5	
達成度			%					
事業所管部局による点検・改善								
	項目			評価	評価に関する説明			
国費投入の必要性	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。			○	マイキープラットフォームは「各府省が共通で利用するシステム」「各府省がシステム構築する上で基盤となるシステム」であるデジタル庁システムに位置づけられている			
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。			○	マイキープラットフォームは「各府省が共通で利用するシステム」「各府省がシステム構築する上で基盤となるシステム」であるデジタル庁システムに位置づけられている			
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。			○	マイキープラットフォームは「各府省が共通で利用するシステム」「各府省がシステム構築する上で基盤となるシステム」であるデジタル庁システムに位置づけられている			
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。			○	マイキープラットフォームの所管換えに伴い、契約関係についても総務省から移管したものであるが、マイナポイント第2弾に要する改修・運用に要する契約については、本システムを熟知している者と締結する必要があることから現行事業者と随意契約(変更契約)締結した。			
	一般競争契約、指名競争契約又は随意契約(企画競争)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。			無				
	競争性のない随意契約となったものはないか。			有				
	受益者との負担関係は妥当であるか。			-				
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。			-				
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。			-				
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。			○	毎週の打合せの場で委託事業者と工数・進捗を確認し、真に必要な改修・作業に工数を投じることとしている。			
不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)			-					
繰越額が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)			○	繰越額が大きくなったのは、システム改修をはじめとした関係者間の調整等に不測の日数を要し、また、経済対策として、コロナで落ち込んだ消費を最大限喚起するためには、年度内の事業期間では不十分であったことから、継続的な事業実施が必要であったためであり、妥当な理由といえる。				
その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。			-					
事業の有効性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。			○	マイキープラットフォーム活用施策数を定量指標にすることは、マイキープラットフォームを活用した施策数を引き上げるという成果目標と整合的である。			
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。			-				
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。			○	見込みに見合う数の施策がマイキープラットフォームを活用している			
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。			○	事業者から納品される成果物などについては、今後のシステムの運用・改修の参考としている。			
点検・改善結果	点検結果	定例の打合せを含む委託事業者との綿密な連携により、予算の適正な執行に努めるとともに、必要な改修について随時指示をすることで、より各府省庁が使いやすいプラットフォームとなるよう契約の進捗を管理している。						
	改善の方向性	令和3年度はマイナポイント事業の延長もあり、繰越額が大きくなったが、令和4年度において繰越額も含め予算を適正かつ効率的に執行できるよう、より一層各施策に使用しやすいプラットフォームとなるような改修・運用を進めて行く。						
外部有識者の所見								
-								

行政事業レビュー推進チームの所見

現状通り

事業の有効性・効率性・成果について、適切かつ的確に検証し、効率的執行に努めるべき。

所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況

現状通り

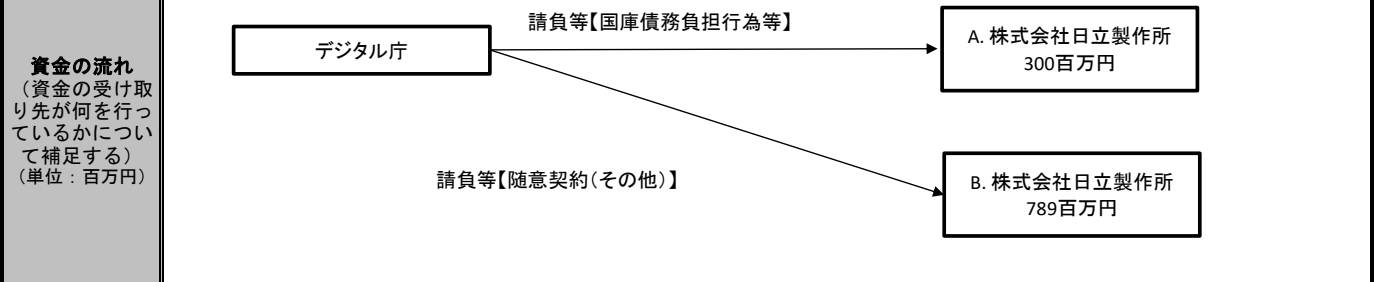
引き続き事業の有効性・効率性・成果について適切かつ的確に検証し、効率的執行に努める。

備考

関連する過去のレビューシートの事業番号

平成23年度				
平成24年度				
平成25年度				
平成26年度				
平成27年度				
平成28年度				
平成29年度				
平成30年度				
令和元年度	総務省	- 新31	- 0006	
令和2年度	総務省		0052	
令和3年度	2021 官房	新21	0008	

※令和3年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。



費目・用途 (「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と用途の双方で実情が分かるように記載)	A. 株式会社日立製作所			B. 株式会社日立製作所		
	費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)
情報処理業務 庁費	マイキープラットフォーム及びその関連システムに関する運用等の請負	300	情報処理業務 庁費	マイキープラットフォーム及びその関連システムに関する運用等の請負	789	
計		300	計		789	

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	株式会社日立製作所	7010001008844	マイキープラットフォームに関する運用及び実証事業	300	国庫債務負担行為等	-	-	マイナポイント事業等の実施に当たり、システムを熟知した事業者に請け負わせるため。

B

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	株式会社日立製作所	7010001008844	マイキープラットフォームに関する運用及び実証事業	789	随意契約 (その他)	-	-	マイナポイント事業等の実施に当たり、システムを熟知した事業者に請け負わせるため。